

令和6年度長井市訪問看護ステーション運営協議会 会議録

1. 開催日時：令和6年12月25日（水）17：00～18：00

2. 開催場所：長井市役所2階庁議室

3. 出席者：19名（委員9名、事務局10名）

■協議会委員：梅津一彦会長、松下賢副会長、伊藤雄介委員、岩崎清美委員、菊地章典委員、小関聖子委員、松村智和委員、竹田香織委員、五十嵐祐子委員

■事務局：梅津義徳厚生参事、鈴木幸浩健康スポーツ課長、塚田恵美子健康スポーツ課健康推進担当課長、鈴木由布子補佐、高橋ゆみ健康推進室長、加藤紀子訪問看護ステーション管理者、小関純子主査、金田弘美専門員、井渕真弓主任、大道寺祥矢看護師

【次第】

委任状交付

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 委員・事務局紹介
- 5 報告・協議

- (1) 令和6年度 訪問看護事業実施状況・事業報告について
- (2) 令和6年度 訪問看護利用者満足度調査結果報告について
- (3) 令和7年度 訪問看護事業計画（案）について
- (4) その他

資料1
資料2
資料3

6 事例報告について

7 その他

8 閉会

【会議録】

1 開会

2 市長あいさつ

○厚生参事

皆様大変お疲れ様でございます。本来であれば市長が挨拶を申し上げるところですが、公務が重なりましたので私よりご挨拶させていただきます。

本日は年末のお忙しいところ、長井市訪問看護ステーション運営協議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、当市の訪問看護事業につきましては、医師会、歯科医師会、薬剤師会の先生方をはじめ、公立置賜長井病院、その他各関係団体の皆様から多大なるご理解とご協力をいただいておりますことを改めて心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、高齢化がどんどん進み、高齢者の増加や、病院の在院日数の減少などにより、医療処置が必要ながらも在宅療養をせざるを得ない方、できる限り住み慣れた地域で自分らしい生活を送りたいと希望される方が増え、在宅医療の必要な方が増えている状況でございます。こうした中、訪問看護ステーションは、市民の皆様が安心して在宅療養できるよう、ますます重要となっていると感じているところで

す。

当市では今年度2名の看護師を採用しまして、より一層のサービス向上を目指して運営を行っております。また、業務の効率化や業務改善のため ICT 機器を活用したデジタル化を実現させていただきました。医療と介護が切れ目のない一体的に提供できる体制、地域包括ケアシステムの推進を目指して、事業の充実、推進を図って参りたいと思っております。

結びになりますが、本日の会議では、協議会の運営に対しての忌憚のないご意見をお願いし、併せて、今後も当訪問看護ステーションの運営に、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

3 会長あいさつ

年末で公私共に大変お忙しい中、訪問看護ステーション運営協議会にご参加いただきましてありがとうございます。この協議会は長井市訪問看護ステーションの運営を円滑かつ合理的に行い、利用者やご家族への看護サービスの提供と、医療サービスの向上を図ることを目的に設置されたものです。病気や障害があっても住み慣れた家で暮らしたい、人生の最期を自宅で迎えたいと望まれる方に対し、頼りになるのが訪問看護です。

訪問看護の強みは、地域で暮らす赤ちゃんから高齢者まで全ての年代の方に、関係職種と協力し合って、一人ひとりに必要な支援が行われるところです。在宅療養をする人の生活を支える訪問看護への期待は大きく、活躍の場は拡大しています。

本日の資料を見ますと、本年度長井市訪問看護ステーションでは、ICT化を図り、タブレット端末の導入、オンライン請求、オンライン資格確認の環境を整えられたようです。今後も地域のニーズに合ったサービスの提供により、長井市訪問看護ステーションがよりよい訪問看護事業となるよう、それぞれの立場から積極的なご意見を賜りたいと思います。本日はよろしくお願いいたします。

4 委員・事務局紹介

5 報告・協議(座長:梅津会長)

(1) 令和6年度 訪問看護事業実施状況・事業報告について 資料 1

事務局より、資料1に沿って説明。

(会長)

規模で言いますと、長井市の訪問看護ステーションの規模は、小規模になるのでしょうか。このあたりは大規模の訪問看護ステーションが少ないと言われていますが、どれくらいの人数がいれば大規模となるのか、定義はあるのでしょうか。

(事務局)

大規模の訪問看護ステーションとなりますと、看護師10名以上の訪問看護ステーションが大規模と言われております。大体5〜7名の常勤換算だと中規模、5名以下になりますと小規模に位置付けられておりますので、私たちのステーションは小規模と中規模の間ぐらいのところになります。

(会長)

このあたりで大規模はあるのですか。

(事務局)

置賜地区であれば、南陽訪問看護ステーションと米沢の三友堂訪問看護ステーションが大規模になっています。

(会長)

小児と精神疾患などの専門的な看護スキルが必要と言われる部分が弱いのではないかとされているが、eラーニングでは、そのようなところは入っているのですか。

(事務局)

eラーニングにその内容が組み込まれているかはわからないのですが、医療的ケア児のコーディネーター養成講習会というのが毎年実施されていて、私も2年前になりますが、参加させていただきました。精神科の研修会もありますが、私たちのステーションでは精神科の指定を受けていないため、精神科の部分は、特に踏み込んだ講習会を受けてくるということはありません。ただ、認知症の研修は長井病院の研修に参加させていただき、勉強しています。

(会長)

長井病院の実習で、研修医の訪問看護への同行と書いてありますが、何回位連れて行かれるのですか。

(事務局)

週に2, 3件、一緒に行っていただいていますので、1か月で8件くらいは行っているかと思えます。

(会長)

1か月間。

(事務局)

1か月間です。長井病院の実習が1か月間であるため、その間に往診に同行したり、外来の診察に入っていたり、その合間に、訪問看護にも来ていただいて一緒に訪問に行っているかと。

(会長)

長井病院で訪問診療する時は、長井病院の看護師が同行するということはないのですか。

(委員)

同行しています。

(会長)

訪問看護の人はいかがですか。

(事務局)

訪問診療は先生と病院の看護師で行きますが、それとは別に訪問看護の利用者にも同行訪問していただいております。

(会長)

別ですね。わかりました。

(2) 令和6年度 訪問看護利用者満足度調査結果報告について 資料2

事務局より、資料2に沿って説明。

(会長)

電子カルテは、スタッフ1人1人iPadを持っているということですが。サーバーに繋いで訪問先でも見られるのでしょうか。インターネット経由でしょうか。

(事務局)

そうです。インターネット経由です。1人1台iPadを持っており、全スタッフで共有できるという状態になっています。クラウド化をしています。

(会長)

クラウド化になっているのですね。はい、分かりました。ありがとうございました。
一般的に、医師と看護師とか医療系の連携は大体良いのですが、医師と福祉の間では、なかなか連携が悪いと言われるのですが、そのあたりはどうでしょうか。

(事務局)

私たちの訪問看護ステーションでは、介護保険の利用者が多いものですから、ケアマネジャーとはよく連携をとらせてもらっています。状況をお伝えしたり、逆に情報をいただいたりしています。施設に

も訪問していますので、福祉関係の事業所、介護系の事業所とも密に連絡をとらせてもらっています。

(会長)

いいですね。医師は福祉系の人との連携が悪いと言われていますが、医師の会合や研修でも、医師が歩み寄っていかないと駄目だと言われています。常々そう思っています。

(3) 令和7年度 訪問看護事業計画(案)について 資料3

事務局より、資料3に沿って説明。

(会長)

ホームページは、全ての訪問看護ステーションが作らなければならないのですか。

(事務局)

ホームページだけではなく、情報公開制度という、訪問看護の情報をインターネット上で閲覧できるサイトがありますので、そこに掲載しても構いません。必ずしもホームページを作らなければならないということではないのですが、私たちのステーションではホームページの整備をして公開していきたいと考えています。

(会長)

提示しなければならないことがたくさんあり、大変小さい字になってしまいます。実際どれくらいの人が見ているのか、わからないですが。

それではここで委員の皆様からご意見、ご感想をいただきたいと思います。それでは名簿順でお願いします。

(副会長)

私は、歯科医師会の狭い世界で浸かっておりますので、こういう訪問看護ステーションの話を知ると勉強になります。質問でもいいですか。訪問看護を受けている患者さんと、口腔内のトラブルでご質問とかあるのかということと、先ほどの電子カルテですが、昨今の地震や大雨で停電したときに、患者さんの情報が何日も見られなくなり、バックアップはされているのかなと思ったのですが、どうでしょうか。

(事務局)

ありがとうございます。訪問看護をしていて歯科のトラブルはよくあります。自分で歯科医院に行ける方はいいいのですが、寝たきりの方ですと、なかなか受診も難しいので、ケアマネジャーを通して、歯科医師会にご相談してもらい、訪問歯科診療を受けられるようにセッティングしていただいた経緯がございます。その他、ご本人がかかりつけの歯医者さんに訪問診療に来ていただいているということも伺っております。歯科の先生に自宅に来ていただけると本当にありがたいと言うお声を聞いております。電子カルテの件ですが、業務継続計画を作成した際に、車もそうですが、携帯電話やタブレットもいつ停電や、ガソリンが入れられない状況になるかわからないため、常にガソリンは入れておく、携帯電話やタブレットも常に充電をフル充電にしておくということを気をつけています。また、長井病院に、私たちのステーションの事務所を置かせてもらっていることもあり、自家発電のコンセントも活用させてもらいたいと思っております。

(副会長)

ありがとうございました。

(委員)

私からも質問になってしまいますが、白鷹町の訪問看護2件受け入れているという話だったのですが、今までは、白鷹町へはどういった対応をされていたのかなと思ったところです。

(事務局)

ありがとうございます。3～4年前だったと思うのですが、白鷹町訪問看護ステーションが、白鷹町立病院の訪問看護事業所に形を変えられたので、そうなると、基本的に白鷹町立病院の患者さんにしか訪問看護が行けないというように変わりました。白鷹町立病院以外の病院から指示書をもらいながら自宅で生活したいという方には、実は今年だけではなく、昨年度とその前にもご依頼はいただいていたのですが、なかなか私たちのステーションでは、長井市内を周るので精一杯で、カバーできる状態ではありませんでした。他のステーションにお手伝いしていただきながら、そのあたりをカバーしていたのですが、今年度は少し看護師数が多くなったこともあり、入らせていただきました。

(委員)

ありがとうございます。医療機器等の要望もいつでも薬剤師にご相談していただけたらと思います。

(委員)

質問ですが、満足度調査を毎年取られていて、高い満足度だと事前資料で見せていただきました。後半に「どちらとも言えない」とか無回答が、何件かあったのが気になります。早く対応してくれて満足というのはわかるのですが、ちょっと満足度として書きづらい設問、14番「心身の状態が安定した」というので満足かどうかというのは少し答えにくいのかなと思います。

ただ、こういう満足度をとると8割が満足というのが当たり前になっているので、89%台というのは満足度が高いと思いますが、無回答や「どちらとも言えない」という、負の回答になったところを、丁寧に考察すると、よりサービスの向上に結びつき、さらに満足度が上がるのではないかと思います。すぐきめ細やかにやってくださっていて、大変感謝しております。

(委員)

立場上、実際に現場で働いていらっしゃる方とはちょっと一線を画しまして、一般市民の人を福祉サービスに繋いでいくという立場なものですから、私はここの場に来て皆さんのご意見を聞きながら勉強させていただいているというのが正直なところです。実際にいろいろ面倒していただいて、ありがたいというのが私の立場でございます。先ほどもあったように、満足度が非常に高いというのは、満足度が高くて当たり前、良い評価があって当然ととらえられるのはどうかとは思いますが、よくやっていただいておりますと感想に変えさせてください。

(委員)

24時間体制で看護師さんのサポート体制が得られるということは非常にありがたいことです。アンケートの結果にもあったように、利用者と家族から、自宅での介護についてはすごく不安だったけれども、不安なとき看護師さんに24時間連絡できる体制ということで、心の余裕が全然違うという声がたくさん届いております。先ほど先生の方からもお話があったのですが、どうしても、お忙しい先生方に、私たちの情報を提供する時間を取っていただくというところで非常に申し訳ないという気持ちで、なかなか情報発信することができていないと私も反省したところです。これからは、情報をどんどん先生方にお伝えしながら、一緒に連携を図ることができたらと思うところです。よろしくお願いします。

(委員)

障害者支援に関わるところで仕事をさせていただいております。市内に生活介護事業所、あと就労Bの作業所が1ヶ所、あとグループホームが4ヶ所運営しています。利用者は知的障害の方が主ですが、中には、二次障害ということで、脳梗塞を発症し、身体障害になられたという方も増えてきている状況です。そういった方は、医療との連携はかなり密にしまして、必要な時には訪問看護を入れています。あと近年、医療的ケア児がかなり増えていて、長井市にも数名該当者がいらっしゃいます。そういった方の在宅の生活を支えていただくというところでは、訪問看護がないと駄目というところもありますので、障害者側からとしても、訪問看護ステーションが充実しているというところでは大変ありがたいと感じているところです。

今年度から新採看護師が2名増えたということで、なかなか他の市町村で看護師の採用というのはあまり聞かれませんので、採用した長井市では、医療の充実といったところでは、すごく頑張っている

ると思います。今後とも、こちらとも連携をさせていただきながらよろしくお願いしたいと思います。

(委員)

今日も梅津先生に往診に来ていただきました。ご利用様は、先生がお越しになるととてもうれしくて、笑顔になったり、気持ちもしゃんとなさったりと大変安心されています。私たちも先生がいらっしゃる、とても安心感がございますし、これからも先生の方には、利用者様のご様子をお伝えできるようにしていきたいなと思ったところです。また、長井市訪問看護ステーションさんとは、連携型という体制で私たちも運営をさせていただいておりますが、医療的な、例えば、インスリンの注射ですとか、褥瘡の処置など、私たちが不安に思ったことすとか、お聞きしたいことなどには、すぐにきめ細やかにお答えいただけるので私たちもすごくケアがしやすく、ご利用者のために、ケアを施すことができていると思っています。本当にありがたく思います。先ほどもチームケアということでお話いただきましたけれども、在宅の薬剤師にも、この度、巡回介護と連携をとらせていただき、お薬を管理していただけると、私たちも間違えなく服薬の援助ができると思います。ですので、これからもチームの一員として、私たちも医療のご指導をいただきながら、利用者様のために、ケアをしていきたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

(委員)

私は、実際に患者様と関わるとか住民の方と関わるということが非常に少ないため、今回のこの満足度調査や、これからご紹介いただく事例は、非常に興味深く見させていただいていたところでした。実際の患者様の声というところは本当に勉強になりますし、保健所としても、看護師不足、人材育成ということが課題として挙げられているわけですので、働き方改革ということも言われている中で、非常に丁寧に対応していただいて、ありがたいなとすごく感じたところです。今後ともよろしくお願いいたします。

(会長)

ただいまいただいた貴重なご意見やご感想、提案などもこれからの訪問看護の活動に活かしていただきたいと思います。

6 事例報告について

7 その他

8 閉会